

歴史に寄り添う
まちづくり

伝建群だより

～感性育み 未来織りなす
絆なまち 桐生～

編集・発行

・桐生市産業経済部 日本遺産活用室
電話 0277-32-3914(直通)

・まちなか交流館

電話 0277-22-1122

令和 7年 8月 1日発行 No.86

今年も厳しい暑さが続きそうですので、皆様におかれましては、こまめな水分・塩分補給、日陰での休憩など熱中症対策をはじめ、体調管理には十分お気をつけください。



住宅用火災警報器の連動点検について

点検期間：令和7年8月25日(月)～9月26日(金)の予定

7月の伝建群だよりでもお知らせしたとおり、地区に設置してある無線式連動型住宅用火災警報器が正常に通信をしているかの点検を行います。

点検は、設置した火災警報器のボタンを押していただき音声を鳴らして行います。

町務員さんと市役所の職員がご自宅にお伺いしますので、よろしく願いいたします。

詳細な日時について、調整が出来次第、チラシ等でお知らせします。都合が悪い場合は、日時を変更しますので、ご連絡をお願いいたします。

点検時間：アンケートも含めて1軒につき、15～30分です。

留守の場合：訪問した際にお留守の場合は、不在手紙を置かせていただき、ご連絡の上、後日訪問いたします。皆様のご協力をお願いいたします。



まちなか交流館 開館1周年 記念講演会を開催いたしました。



7月16日(水)に、まちなか交流館において、「桐生新町の歴史的資源を生かしたまちづくりの可能性を考えるー全国に広がるNIPPONIAの地域活性化事例を参考にー」をテーマとした講演会を開催いたしました。当日は、本町一・二丁目の住民を中心に26名の参加者により、盛況のうちに終了することが出来ました。

講師には、全国各地で古民家などの歴史的資源の活性化を目指すまちづくり活動「NIPPONIA」(ニッポニア)を推進している株式会社NOTE(ノオト)より、取締役副社長星野新治氏をお招きし、全国の事例紹介と共に桐生市の歴史的資源の可能性についてご講演をいただき、有意義な時間を過ごすことができました。

この講演会が、重伝建地区の地域の活性化及び魅力的な場所となる第一歩となり、これからのまちづくりの機運の醸成に繋がればと思います。

ー 先進都市行政視察研修に行ってきました ー

7月2日から3日にかけて、日本遺産活用室 室長の矢島と係長の太田にて、講演会の講師である株式会社NOTE 取締役副社長 星野氏との打合せを兼ねて、兵庫県丹波篠山市【篠山伝統的建造物群保存地区】と京都府与謝郡与謝野町【加悦伝統的建造物群保存地区：ちりめん街道】の視察研修を行いました。

丹波篠山市では、茅葺き屋根の武家屋敷安間家資料館を見学し、篠山城下町の歴史ある町並み、文化、暮らしの形を次世代に繋ぐため、空き家になってしまった建物を改修し、複数の客室棟が街中に散らばる分散型のNIPPONIAホテルを周遊しました。センス良く改修されたホテルにより、町並みの魅力が向上し、新たな事業者や移住希望者が増え、賑わいを創出していると感じました。

与謝野町では、旧加悦町役場庁舎（与謝野町観光協会）や旧尾藤家住宅を見学し、ちりめん街道の散策を行いました。「ちりめん街道を守り育てる会」が、地区内の清掃や会報を作成する他、「本格着物体験」等イベントを企画するなど、行政と連携し、他の地区との差別化を図ることが、認知度向上に繋がっていると感じました。

この研修で得たものを地区の皆様に還元すると共に、これからの重伝建地区について、一緒に考えていきたいと思っています。



(丹波篠山市) 武家屋敷安間家資料館



(与謝野町) 旧加悦町役場庁舎

ー 伝建キャッチコピーが決まりました！！ ー

全国伝統的建造物群保存地区協議会（伝建協）では、伝建の認知度の向上を図り、さらに50年・100年と守り伝わるよう、各種プロモーションに活用するための「伝建キャッチコピー作成事業」を実施してきました。選考を行った結果、以下に決定し、先日の伝建協総会で承認されました。

決定!

移りゆく暮らし 変わらない町並み

このキャッチコピーは、

1. 「伝建」という文化財の理念・特色をよく捉えている。
2. 伝建地区に住む人・伝建地区を訪れる人、どちらの立場から考えてもよい表現であるという点などが評価されました。

今後は、伝建協加盟市町村での伝建に関するイベント等で使用していきます。

全国伝統的建造物群保存地区協議会（伝建協）とは・・・伝統的建造物群保存地区を持つ市町村から構成されています。歴史に育まれた日本の貴重な文化遺産である町並みの保存・整備を図っています。

キャッチコピーの使用を希望される方へ

伝建協加盟市町村以外の方の使用も可能です。下記の伝建協のHPを確認の上、ご使用ください。

伝建協（キャッチコピー）URL：<https://www.denken.gr.jp/news/2025/03.html>